

橿原市立図書館だより

令和 4 年 3 月 31 日 発行

第 4 4 号

橿の樹

ビブリオバトル 2~5

橿原市図書館協議会
委員の募集について
6-7

編集後記など 8



クリスマスツリー
をかざってね♪

つくえの
はこのなか
にかざりが
はいるよ!



特集：ビブリオバトル

ビブリオバトルとは、発表者（本を紹介する人）と観戦者（発表を聞いて投票する人）に分かれて、本の紹介をゲーム感覚で楽しめるコミュニケーションゲームです。「人を通して本を知る、本を通して人を知る」をキャッチコピーに、図書館や書店などで実施されています。また近年は、小・中学校の授業でおこなわれることもあり、教育現場でも取り入れられてきています。檀原市立図書館では、檀原ビブリオバトル部の協力の下、2013年度よりビブリオバトルを開催しています。

ビブリオバトル公式ルール

- ① 発表参加者が読んでおもしろいと思った本を持って集まる。
- ② 順番に1人5分間で本を紹介する。
- ③ それぞれの発表のあとに、参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分おこなう。
- ④ すべての発表が終了したあとに「どの本が一番読みたくなかったか？」を基準とした投票を参加者全員1票でおこない、最多票を集めたものを『チャンプ本』とする。

「ビブリオバトルを楽しもう」（さ・え・ら書房）より

←←←←←補足説明>

- ① テーマを設定することもできます。
- ② 発表者は必ず5分間を使い切ってください。なお、発表時間を3分間にしたミニ・ビブリオバトルもあります。発表時は、資料やレジュメを使用せず、ライブ感をもって発表してください。
- ③ 発表を聞いてわからなかったところや、もっと詳しく知りたいと思ったことを聞きましょう。楽しい場にしていくために批判的な質問はやめましょう。
- ④ 発表者は、自分の発表した本以外に投票するというルールがあります。

↓第5回ビブリオバトルの様子



ビブリオバトルはみんなの前で発表して実施する方法で以外にも、少人数のグループになって、グループ全員発表しあう方法でも実施できます。そして必要な物は「自分の紹介したい本」だけで、『公式ルール』を守れば、誰でも開催することができます。次のページでは、図書館で開催された、これまでのビブリオバトルを紹介していきます。

☆図書館開催！ビブリオバトルの軌跡☆

檀原市立図書館では昨年度までに8回のビブリオバトルが開催され、計44冊の本が紹介されました。ここでは発表された本や会場の様子を紹介します。

※左端に『☆』のある本がその時チャンプ本に選ばれました。

※檀原市立図書館で所蔵していない本もあります。

第1回ビブリオバトル（2013年11月10日開催）

テーマ「本」

- 「ソードアート・オンライン」 川原 礫／著
- ☆「人生逆戻りツアー」 泉 ウタマロ／著
- 「金色のガッシュ!!」 雷句 誠／著
- 「辞書を編む」 飯間 浩明／著

←ビブリオバトルは2007年から始まり、2010年から全国的に普及していきました。第1回ビブリオバトルは普及しはじめてから約3年後の開催となりました。

↓会場の様子①



第2回ビブリオバトル（2014年11月3日開催）

テーマ「秋」

- 「ミツバチの会議」 トーマス・シーラー／著
- 「錦繡」 宮本 輝／著
- ☆「男どき女どき」 向田 邦子／著
- 「赤とんぼはなぜ竿の先にとまるのか？」 稲垣 栄洋／著
- 「読書について」 ショーペンハウアー／著
- 「もの食う人びと」 辺見 庸／著

第3回ビブリオバトル（2015年11月3日開催）

テーマ「夢」

- ☆「怪談」 小泉 八雲／著
- 「プラダを着た悪魔リベンジ!」 ローレン・ワイズバーガー／著
- 「高丘親王航海記」 渋沢 竜彦／著
- ☆「放課後の音符(キイノート)」 山田 詠美／著
- 「ロートレアモン全集」 ロートレアモン／著
- 「はてしない物語」 ミハエル・エンデ／作



↑会場の様子②



↑会場の様子③

第4回ビブリオバトル（2016年11月20日開催）

テーマ「時間」

- 「四畳半神話大系」 森見 登美彦／著
- 「懐中時計」 小沼 丹／著
- ☆「人生最後の時間」 木原 武一／著
- 「メ切本」 左右社編集部／編
- 「タイムセラー」 フェルナンド・トリアス・デ・ベス／著
- 「トムは真夜中の庭で」 フィリパ・ピアス／作

Kashinoki

第5回ビブリオバトル (2017年11月19日開催)

テーマ「なし」

「偶然短歌」 いなにわ／著、せきしろ／著

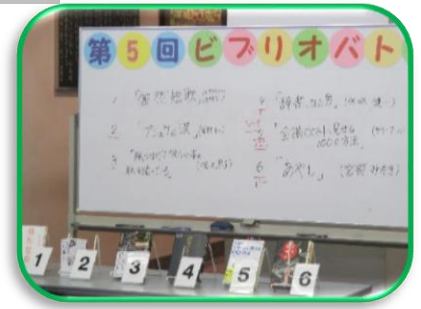
「あやし」 宮部 みゆき／著

「辞書になった男」 佐々木 健一／著

☆「会議でスマートに見せる100の方法」 サラ・クーパー／著

「紙つなげ!彼らが本の紙を造っている」 佐々 涼子／著

「プシュケの涙」 柴村 仁／著



↑会場の様子④



↑会場の様子⑤

第6回ビブリオバトル (2018年11月18日開催)

テーマ「18」

「ことばを磨く18の対話」 加賀美 幸子／編

「書くことについて」 スティーヴン・キング／著

「古本買い十八番勝負」 嵐山 光三郎／著

☆「其礼成心中」 三谷 幸喜／著

「友情」 武者小路 実篤／著



↑会場の様子⑥

第7回ビブリオバトル (2019年11月24日開催)

テーマ「ノーベル賞」

「納屋を焼く」 村上 春樹／著

☆「科学の発見」 スティーヴン・ワインバーグ／著

「友情」 山中 伸弥／著

☆「ロウソクの科学」 ファラデー／著

「クラゲの光に魅せられて」 下村 脩／著

「犬の年」 ギュンター・グラス／著

そして、2019年からは小学生を対象としたミニ・ビブリオバトルを追加開催しました。当時小学生向けのビブリオバトルは開催数が少ないということもあり、遠方からの参加者もありました。当日は、合計28名の方に参加いただき、白熱したバトルとなりました。

第1回ミニ・ビブリオバトル (2019年11月24日開催)

「いねいくみいばんサイコー!」 後藤 竜二／作

「そばかす先生のふしぎな学校」 ヤン・ブジェフバ／作

「ネコのタクシー」 南部 和也／さく

「怪盗レッド」 秋木 真／作

☆「四つ子ぐらし」 ひの ひまり／作



2021年12月12日実施

第2回ミニ・ビブリオバトル&第8回ビブリオバトル（オンライン）

新型コロナウイルス感染症のため、対面での開催を断念し、今年度は初のZoomを使ったオンラインでビブリオバトルを開催しました。当日は午前中に小学生向けのミニ・ビブリオバトル。午後からは一般向けのビブリオバトルを実施しました。どちらのビブリオバトルも白熱したバトルになり、発表後の質問も飛び交う楽しいひと時となりました。

オンラインは、会場に集まって実施したビブリオバトルと比較すると、臨場感や一体感を感じづらい面が確かにありました。しかし、遠方からの参加者や、移動中に発表してくれた参加者もあり、場所や状況に関わらず参加できるというオンラインならではのメリットもありました。

今回の発表本とチャンプ本（左端に☆）は以下のとおりです。一般対象ビブリオバトルの発表の様子を榎原市公式チャンネル「カシイロ」で公開しています。QRコードを読み取るか、下記URLを入力してご覧いただけます。

※右端の数字（①）と下のQRコードが対応しています。

「カシイロ」URL：<https://www.youtube.com/user/kashiharacityoffice>



第2回 ミニ・ビブリオバトル（小学生対象）

「5分後に意外な結末 ex バラ色の、トゲのある人生」 桃戸 ハル／編著

「夏休みの秘密の友だち」 富安 陽子／著

「おまえうまそうだな」 宮西 達也／作絵

☆「ふしぎの時間割」 岡田 淳／作絵 （チャンプ本）

第8回ビブリオバトル（一般対象） テーマ「思い出の本」

「ターン」 北村 薫／著

①「地図をグルグル回しても全然わからない人の方向オンチ矯正読本」 北村 壮一郎／著

②「至高聖所(アバトーン)」 松村 栄子／著

③「フォーチュン・クエスト」 深沢 美潮／著

☆④「山のおこうは青い海だった」 今江 祥智／作 （チャンプ本）

①



②



③



④



今回のビブリオバトルについて、いかがでしたでしょうか？図書館では、毎年秋頃に開催しているので、まずは一度参加して、体験してみてください。参加お待ちしております。

檀原市図書館協議会委員の募集

檀原市立図書館の運営について、市民の皆さまの意見を反映させるため、檀原市図書館協議会委員を公募します。

1. 協議会の名称

檀原市図書館協議会

2. 公募する委員の人数

1人

3. 委員の任期

令和4年7月1日から令和6年6月30日まで

4. 応募資格

応募資格については、次に掲げる要件をすべて満たす者とする。

(ア)本市に引き続き1年以上居住している者で、応募時の年齢が満20歳以上の者

(イ)公募委員に選任される日において、本市の他の審議会等の委員に選任されていない者

(ウ)行政機関(本市を含む。)の職員(特別職を含む。)でない者

(エ)次の①～⑤のいずれにも該当しない者

①成年被後見人、被保佐人、被補助人及び民法の一部を改正する法律(平成11年法律第149号)附則第3条第3項の規定により従前の例によることとされる準禁治産者

②禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者

③日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

④暴力団(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する団体をいう。以下同じ。)又は暴力団の構成員、暴力団の維持運営に協力若しくは関与をする者、暴力団と親密な交際をする者その他暴力団と社会的に非難される関係を有する者

⑤会議に出席できる状態にない者

5. 報酬

協議会出席1回につき10,000円(税込み)

6. 協議会開催予定回数

年2回程度開催予定(平日)

7. 応募期間

令和4年4月28日(木)から5月31日(火)まで

8. 必要書類

①応募申込書(図書館で配布しています。図書館ホームページからもダウンロードできます。)

②小論文 テーマ「魅力ある市立図書館とは」

上記についてあなたの考えを述べてください。(400字詰原稿用紙2枚以内)

9. 採点項目

- ①論点整理・・・論旨や文章構成が整理されているか。
- ②社会的認識・・・著作物や図書館について基本的な理解があるか。
- ③地域住民性・・・檀原市民としての視点があり、意見として建設的であるか。
- ④公平性・・・論旨・論点に公平性があるか。

10. 選考方法

選考委員会を設置し、小論文と面接により行います。

面接の日時は別途通知します。

11. 応募方法

下記のいずれかの方法で必要書類を提出してください。

- ①事務局(檀原市立図書館)へ直接提出
- ②郵送(令和4年5月31日必着)

12. 選考結果の通知

応募者全員に文書で通知するとともに、応募者個人の情報に該当する部分を除き公開します。なお、応募いただきました必要書類については返却いたしません。

13. 選任に関する特例

公募を行った場合において、応募人数が募集定員に満たなかったとき、又は選考の結果、該当者がなかったときは、再公募によらないで委員を選任することができるものとします。

【問い合わせ先(事務局)】

檀原市立図書館 〒634-0075 檀原市小房町11-5
電話番号:0744-29-2121



☆図書館からのお知らせ☆

①貸出冊数の変更について

令和4年4月1日より、貸出冊数が変わります。

図書・雑誌は1人 10冊 (変更前は5冊)

視聴覚資料は 2点 (変更ありません。)

貸出期間は 2週間 (変更ありません。)

②おはなし会の開始時間の変更について

毎週土曜日に実施しているおはなし会の開始時間が変わります。

(変更前) 10時～10時30分 → (変更後) 10時30分～11時

※毎月第2水曜日に実施している赤ちゃんおはなし会の開始時間は変更ありません。

(第1部: 10時～10時20分, 第2部: 11時～11時20分)

※毎月第4水曜日に実施している「絵本の時間」は引き続き中止します。

<檀原ビブリオバトル部様からのメッセージ>

今回の「檀の樹」の発行にあたり、第1回ビブリオバトルから講師を務めていただいている、檀原ビブリオバトル部様より「ビブリオバトルの魅力やおもしろさについて」のメッセージをいただきました。

「檀の樹」での特集、ありがとうございます!この特集を通して、多くの方にビブリオバトルに出会っていただけること、とても嬉しく思います。たくさんの本と人に出会えることがビブリオバトルの魅力ですが、大きな特徴は「一番読みたくなった本に投票する」という点です。この作業があることで、発表者は「伝える」ために熱く語り、観戦者も「選ぶ」ためにより深く発表を聞こうとする。その熱量によって、参加者は普段は読まないジャンルの本にも興味がわき、確実に読書の幅が広がる。また、いろいろな人の人生や考え方に会うことで、自分を振り返り、考えを深めることができる。ビブリオバトルの登場は、「読書の楽しみは個人的なもの」ととらえられがちだった概念をほぐし、人とつながる読書の楽しみを教えてくださいました。唯一の困りごとは、積読本が増える、ということでしょうか。この特集を通して興味を持っていただけましたら、次はぜひ会場でその魅力とおもしろさを体感してください。一緒に読書を楽しみましょう!

檀原ビブリオバトル部

月1回檀原市内でビブリオバトルを定期的で開催しています。お問い合わせ等は、下記リンク先より。

<https://kashiharabiblio.jimdofree.com/>

<https://kashiharabiblio.fensi.plus/a/blink/>

(編集後記)

最後までお読みいただきありがとうございました。また、今回の発行にあたり協力をいただきました参加者、並びに檀原ビブリオバトル部様、ありがとうございました。

さて、本の紹介するイベントといえば「ビブリオバトル」以外にも、主なものとして「ブックトーク」や「読書会」などがあります。では、その違いは为什么呢?

まず「ブックトーク」ですが、こちらは主催者が紹介する本のテーマを決め、そのテーマに沿った本を参加者に紹介します。主催者が発表者、参加者は聞き手となります。主催者がテーマや勧める本を決めるので、主催者の意向を反映しやすいイベントになります。

次に「読書会」ですが、1つの本を参加者全員で読み、その本について語り合う方法と参加者が好きな本を紹介し、語り合う方法、この2つの方法があります。前者は、1つの本を深く読むことになるので、研究など深くテーマを掘り下げて読んでいく時に適しています。後者が一番ビブリオバトルに近いものになります。ビブリオバトルとの違いは①本を紹介する人に5分間のプレゼンタイムがあること。②チャンプ本を決めるか決めないか。でしょうか。

本の紹介イベントにはいろいろとありますが、どのイベントにも共通することは、新しい本と出会うチャンスだということです。今回の特集が、みなさんの新しい本と出会うきっかけになると幸いです。(编者)

檀原市立図書館

檀原市小房町11-5 TEL:0744-29-2121 FAX:0744-29-1011
ホームページ <https://www.city.kashihara.nara.jp/>

表紙 「図書館貸切」(右上) 「クリスマスツリーをかざろう」(左側、右下)